



2017年10月 南アフリカ新聞第3号

SABONA

=サボナ(こんにちは) 鈴木 壮太

10月になり、食欲しょくよくの秋がやってきました。栄養えいようたっぷりの給食をしっかりと食べてすくすくと成長しましょう。

一方南アは、夏が始まりどんどん暑くなっています。今回は南アの給食(お昼ご飯)を紹介しょうかいします。日本のご飯と比べながら読んでみてください。

給食って一体何を食べてるの!?

第2号の新聞では給食について少ししか書くことができなかったので、今回は詳しく紹介くわします。まず、児童は給食、売店、お弁当、の3種類の中から自分の昼食えらを選ぶことができます。8割わりの児童が給食、1割がお弁当、1割が売店というのが、おおよその割合です。給食費はなんと0円!



パップに牛乳を混ぜたもの

写真は南アの主食であるパップです。日本でいうお米にあたり、伝統料理です。パップはとうもろこしの粉と水を煮て、こねたものです。味はお米に少し似ていて、食べやすいです。そして驚おどろくかもしれませんが、手で食べます! アフリカでは一般的いっぽんてきな食べ方で、私も毎日手で食べています。



これはかぼちゃ! 大人の手のひらくらいの大きさです。かじりつきます。



白米、野菜炒め、スープです。アフリカのお米はパサパサ!



はし、スプーン、フォークはありません。手で食べます。アチッ! ってるので注意。



給食室はありません。雨でも外で給食を作ります。屋根があるから大丈夫!



5人で給食を作っています! いつも楽しそうな笑い声が聞こえてきます。



食べ終わったら自分で食器を洗います。



売店にはクッキーやキャンディー、スナック菓子などが売っています。



パップ

先生たちの給食。ほとんど毎日パップと鶏肉です。



かぼちゃの葉っぱとピーナッツミルクを和えたもの。伝統料理のひとつ!

今回は、南アの給食や食事についての紹介でした。日本とは、こんなにも食事の文化が違うのです。(日本の食事が恋しい。)でも、アフリカの人たちがいつも何を食べているのかずっと気になっていたの、毎日とても勉強になっています。次回もよろしくお願いいたします。